

## 地域医療等対策特別委員会会議録

開催年月日	平成29年 3月22日 (第15回)					
開催の場所	湖西市役所 委員会室					
開閉会時刻 並びに宣告	開 会	午後 1時32分	委員長	佐原 佳美		
	閉 会	午後 2時35分	委員長	佐原 佳美		
出席並びに 欠席議員  出席 9名 欠席 0名  〔凡例〕 ○は出席を示す ▲は欠席を示す ●は公務欠席を示す	氏名	出欠	氏名	出欠	氏名	出欠
	福永 桂子	○	島田 正次	○		
	菅沼 淳	○	牧野 考二	○		
	土屋 和幸	○	二橋 益良	○		
	高柳 達弥	○				
	佐原 佳美	○				
	竹内 祐子	○				
説明のため 出席した者の 職・氏名						
職務のため 出席した者の 職・氏名	係 長	村越 正代	書 記	三浦 梨紗		
会議に付した事件	別紙のとおり					
会議の経過	別紙のとおり					

# 地域医療等対策特別委員会会議録

平成 29 年 3 月 22 日（水）

湖西市役所 委員会室

湖西市議会



〔午後 1 時 32 分 開会〕

○佐原委員長 暑かったり寒かったり、気温の変化が激しいところではありますが、まだ議会会期中というところで、皆様お忙しいところでございますが、ありがとうございます。

ただいまから第15回地域医療等対策特別委員会を開催いたします。

きょうは、2月6日に掛川市に行った視察のまとめをしたり、また、今後のこの委員会の方向性をちょっと後で最後にお話ししたいな、皆さんと協議したいと思っております。よろしく願いいたします。

きょう議会事務局にお配りしていただいておりますのは、皆様からの報告書のコピーです。ちょっと急には読めないとは思いますが、自分自身もどうだったかなというのを忘れちゃってるところもありますので、自分の報告書を読み返しながら、まとめを言っていただいてもいいかなとも思いますし、ほかの方をごらんになって、ここは大事だなというところなんかを挙げていってもらおうという形で進めたらどうかなと思いますけど、いかがでしょうか。

では、こんなふうに進めさせていただきます。

誰かホワイトボードに書いてもらえますか。用意してもらってありますけれども、書いていただきます。どうします。箇条書きにまとめること。事務局じゃなくて中で選んでいいですかね。

済みません。高柳委員にホワイトボードの板書をお願いいたします。

もう1カ月も過ぎたところではありますが、皆様の印象に残ったところとか、ぜひ湖西市にこれは伝えて取り入れていったほうがいいなとか、そんなようなことでいいと思いますので、順次出していただきたいと思います。

では順番に。これは大事なかなというような、印象に残ったところとか御発言をお願いしたいと思います。

福永さんからいいですか。掛川へ視察に行った御自分の報告書をもう一度見直してもらってもいいし、印象に残ってることを言っていただいて。御自分のまとめたので結構です。これはやはり視察に行った後、一番学びの多かったなというところから言っていただいて。

○福永委員 最初の印象ですけども、すごくコンパクトに医療がまとめられてるなというのがすごく思いました。大変連携もよくされてて、そして際立ったのは、やっぱり掛川の歴史がそういうふうなことを生んできたんだなという、今すぐやるから、1年、2年で考えてやりましょうというのではなくて、十何年、20年前前から土壌があって築き上げられてきたということがやっぱりすごいなと思います。

それと、一番印象的だったのは、地域の人とかNPOとか、住民の力を取り入れた体制にしているというところが印象に残りました。今のところこれぐらいです。

○佐原委員長 ありがとうございます。医療がコンパクトにまとめられてるというようなね。

今、板書してる間、もう一度ざっと自分の報告書でも見直してください。

あとほかに。今、福永さんおっしゃられたのは、医療と介護の連携がうまくコンパクトに連携しやすくまとめられていたということとか、急にできたものではなく長い歴史の中でつくられてきたということと、あと地域住民とかNPOの力を取り入れて運用されているというところがすばらしいと思ったと今3点おっしゃられました。

コンパクトにまとめられていたということと、それから歴史、長年時間をかけてつくってきたこの連携であると。

あとどうですかね。菅沼さん、印象に残ったこと。

○菅沼委員 福永さん言ったこと一緒なんですけど、今言われた医療とか保健とか福祉とか介護、そういった問題、相談する側がそこへ相談すればそこで世話焼いてくれるということですよ、何というんですかね。

○佐原委員長 ワンストップでできる、拠点でね。

○菅沼委員 あと5つ、各地区で拠点を持つとか。

○佐原委員長 ふくしあ。

○菅沼委員 ふくしあがあって、その地域の人が各拠点に相談するというんでしょ。湖西もこういった体制でいけばいいんじゃないかと。

○佐原委員長 行きやすい場所が市内に5カ所あったというところですよ。

○菅沼委員 誰も聞いとらん。

○佐原委員長 市民が相談しやすい。皆さん自分が言うこと考えてるんであれですけど。

どうぞ土屋さん。

○土屋委員 医療・保健・福祉・介護・子育てが全部1カ所でやってる。これ5つのエリアであるかもしれないけど、そうするといわゆる多職種連携が図られているので、今菅沼さんがおっしゃったように、相談に来た市民がこれはここ行ってよ、あそこ行ってよじゃなくて、1カ所で全部済んで、それで最終的には行くところが決まってくるんだろうけど、そこでは用が済まないんで。そういう相談に行ったほうががっかりしなくていい。ほんとにそう思いますよ。こんなとこになして来ただいなということにならないような仕組みになってるのがすごいんだけど、それはさっき福永さんが言った掛川というまちがそうさせるのかもしれないんで、湖西でそれをそのままストレートにいけるかどうかという気はしました。以上です。

○佐原委員長 難しいですね。

○土屋委員 言っとることは一緒。みんなもそう思うと思うよ。

○佐原委員長 そうですね。市内5カ所で、相談しやすい場所でワンストップで相談を受けてくれる拠点があるということだと思います。そうですね、多職種がいる。

今大きくは3つですね。菅沼さんがおっしゃられたのも、そういう多職種連携が図られるワンストップで相談する場所がある。市民が行きやすいと。あと土屋さんも言われた、1カ所に行って、ここじゃないであっちへ行ってくれみたいな、そういうことがなくワンストップで相談を受けてくれるふくしあがあるという。

ほかはどうでしょうか。竹内委員。

○竹内委員 掛川は、思ったことが、松井市長になってから、やたらという言い方失礼ですけども、自治基本条例とか、条例を結構つくって行政の役割とか市民の役割とかいうのをすごく持たせるようにしているところなんです。結局自治基本条例つくった後に議会基本条例もつくられていて、結局今回のこの地域医療の構想のことについてでもそうなんですけど、やはりこの地域の医療を守っていくためにということで掛川健康医療基本条例というのを議会サイドでつくって、また市の役割、市民の役割をしっかりと意識づけているというところで、市民への広報の仕方も意外とはっきりとわかるように示されているところが徹底してるのかなと思ったんです。

本当に掛川は、合併して広がってしまっ、掛川市役所にみんな相談に来てねと言うと、ほんとに半日がかりという感じで大変なんです。だから各地域5カ所に分かれて、ふくしあ構想というのを設けていったということは、やはり市民のことをしっかりと行政が考えて、各地区にふくしあという施設をつくり、多職種連携でみんなが困らないようにしたというところは見習いたいという思いがします。でも、湖西はおかげさまで15分ぐらいで全部来ちゃうもんだから、掛川と同じようにというふうにはいかないのかなという部分もあります。

あそこですごいと思ったことは、小笠医師会というのがすごい力を持ってて、意外と医療に関しては医師会が結構牛耳ってて、こうするとい、ああするといという方向性を持っていて、夜間の医療体制なんか、その医師会のほうから医者が派遣されて、中部のふくしあの隣にちゃんとそういう夜間とか休日の医療体制を整えているところもすごいなと思いました。

それから、掛川の市民病院の跡地を希望の丘というふうにして、ほんとにそれこそ視察のモデル地区というか、そういうふうにしてることも掛川市を売りにしてるのかなというふう、松井市長さんのそういう戦略なのかなという思いもして、そこの中に障害者から、高齢者から、子供から、全てそういう福祉ゾーンという形を出して掛川の魅力を発信してるのも1つの武器なのかなと思いました。以上です。

○佐原委員長 島田副委員長。

○島田副委員長 みんな言ってくれたもんでないんだけど、今竹内さん言われたみたいに市の宣伝だよね、早く言うと。市長のああいう感覚でやれば、すごいだもん視察が。視察ばかり。僕が感じたのは職員、もうなれちゃって、あんなおると、ほかとうまくいくのかなと思うぐらいに、もうプロ化しちゃってるだよね。パターン化してるというのかな。だけど、あれは中じゃうまくいっとらんと思うよ。すごいそういうのは感じたね。

済みません。俺だけこれ出してなかった。以上です。

○佐原委員長 ありがとうございます。希望の丘という掛川市民病院の跡地の有効活用がすばらしく。

市のPRにもなっている希望の丘が市長の手腕と、あと専門職員がいるという。

島田副委員長。

○島田副委員長 湖西も、ああいうの5つぐらいかな、掛川がやってみたいに学区でできるにはできるだよね。ただ、人が要るし、場所がないだよ。そうやってやってやるほうが年寄りなんかも楽だと思うよ。バスで来たり、そういう年寄りに対しては学区でやれば5つぐらいじゃない、ちょうど学区だとね。幾ら15分ぐらいでもなかなか来るの大変みただよ。それだし、土屋さん言ったみたいに、ここへ来て、この階でしゃべって、あっち行けとたらい回しがここは多いもんで大変みたい、年寄りはね。

○佐原委員長 土屋委員お願いいたします。

○土屋委員 今島田さんの言ったように、たらい回しにするというのは、湖西市の特徴と言や特徴だし、1つの場所で、ここじゃない、あっち行ってくれ。それでも忙しいからしょうがないと言いながらも、ちょっと手を引いて案内してくれりゃいいけど、あっちだよ、2階だよ、3階だよ言われたってなかなか。これは絶対市民にしてみれば不便を感じるんじゃないかなと思います。島田さんの言われたとおりに思います。

○佐原委員長 今、市民サービスの上からも、湖西市もふくしあのような体制で、市民の近いところへ相談拠点ができたらいいなという御意見。ふくしあをモデルとしてできたらいいなという御意見が多いです。

あと二橋委員、どうですか。

○二橋委員 まず我々が視察行った場所というのは希望の丘。地域包括をやるためには、やはりソフトが先行していかんやいかんだけでも、あそこの場合にはハードの部分が先にできちゃってる。たまたまそれが1カ所にまとまってできてるのは、有利なやり方だったなど。もともとそれをやるには、10年前からいろんなまちづくりがあって、もともと掛川は、まちの形ができてただよね、そういう意味では。ですから、我々は今一生懸命模索しとるけども、掛川市はもう10年前からその予測を立てながら、ずっと先行してきたと。強いて言うなら、地域を包括するためには、ふくしあという医療とか保健とか福祉とか介護、それらを統括したものが各地区に点在して、ちゃんと核をなしてると。湖西市が本来やらなきゃいけないのは、まずハードはちょっとまねできないものですから、ソフトの面で、要するにある機関でどうそれを包括してくかということのほうが重点的なこれからの作業になるかなと。いずれにしろそういうソフトのランディングができてないもんで、さあ体制としてはこういうふうにやればどうだという国の指針があるにかかわらず、ここではその動きが全くないじゃんね。まず、まちの形をつくらないと全ての事業は進行してかんたよ。今、湖西市は、非道な言い方するかもわからんけども、まちの核ができてないじゃん。たまたま新居町との合併で本来なら効率よくいくはずだったのに、いまだにその施策がない。結局湖西市のまちの形ができてないもんで、そのまま来ちゃってるもんで、まずこの包括ケアを始める前に、本来はまちの形をとりあえずしっかりつくらないと、全てのものはうまくいかんと思うよ。これ原点だと思うよ。

そういう意味でも、掛川行ってよかったなと思うのは、後段で話したふくしあの連携、これはすばらしいなど。湖西市でどうやってやるかと思ったら、例えば鷺津の役所があるこのかわいが中心になって新居、新所原、それから北部、南部、こういうようなとこに地域拠点をつくって進めていかなきゃいけないなど。

いずれにしる掛川のいいところは、歴史があるもんだから、その中で、これから始まろうとする地域の包括ケアがもともとできちゃったと。我々は本来勉強するのはそこをちゃんとしっかり勉強していかなきゃいかんけども、行ったら施設ばかり見て、半分それで終わっちゃって、現体制のどっか1つでも、ふくしあ地域のやつを見たかったんだけど、ちょっとそこが的外れになったかなという懸念はしております。そういうことで、皆さん多分一緒だと思うんですけど。

○佐原委員長 ありがとうございます。一番の拠点の中部ふくしあを見学しただけで、ちょっと時間切れで、ほかの点しているところも形や入っているメンバーや人数的なもの、かなり表を見ると違ってたようなので。

島田副委員長。

○島田副委員長 今、議長と土屋さん言われたみたいに、行政の医療ばかりじゃなくて、そこを直にや医療なんかできないと思いますよ。一番たらい回しが多い、湖西市役所は特に。新居の人ら物すごい言うだよね。新居でだめなとき、こっち来るでしょ。新居は小さかったもんで割合丁寧に教えてただよ。1万6,000人のまちなもんで。そのぐらいに湖西市役所も変わってかないと、こんなのできないと思いますよ。僕はすごく感じますけどね。議長と同じ意見です。

○佐原委員長 牧野委員、いかがですかね。ぜひともお願いします。

○牧野委員 皆さんと同様、感じは一緒なんですよね、実を言うと。そのまま湖西へ持ってきてできるかという、皆さん言ったようにできっこないですよ。僕が一番感じたのは、例えばがん患者がおって、そのお宅のことの中身まで考えてやるということ。例えばそのうちの主人ががんになって生活どうする、その生活まで考えてやる、そこまでいってるということは僕はすごいなと思って。今そうやって湖西で入れるかという、とても入れることじゃないと思うし、そういうことまで入ってるということ。それで奥さんの仕事心配してやって紹介してやるとか、そこまでいってるということは僕はすごいな、そんなことはとても湖西ではできないなというのと、やっぱり皆さん言ってるように、まだ湖西は基礎ができていないから、じゃあ掛川いいからそのまま持ってきてできるか、これ絶対できっこないね。もうちょっと土台をきっちり固めてからでないとはできないというふうに感じてます。以上です。

○佐原委員長 今ソフト面が育ってないので、ハードだけ形をまねしても湖西でそのとおりにはいかないんじゃないかという御意見が続きました。一番最初竹内委員がいろんな条例をつくったという中に、自治基本条例のような、そういう市民がどうかかわるのかという条例が先にありきでできたということですけど。

○島田副委員長 勉強不足で悪いんだけど、竹内さん、基本条例、その前に何かできてるかな、掛川市は。先につくってそっちへ行ったわけだな。

○竹内委員 自治基本条例を先につくってありまして、そうすると行政の役割とか議会の役割とか、そういうのがあったもんだから、1年後ぐらいにかな、議会基本条例を議会のほうでもつくりまして、それで結局その中に、地域医療の推進に向かってのことを進めていくに当たり市民の健康増進というか、そういうようなものの、掛川健康医療基本条例というのを行政がつくるじゃおかしいもんだから、市民の代表の議会側サイドがこれを提案して、つくって、それで市民の役割とか、しっかりとそういうものを決めて医療と福祉の推進を図っていく体制をつくっているところがすばらしいなと思ったんですね。

○島田副委員長 ありがとうございます。勉強不足でごめんなさい。

○佐原委員長 ありがとうございます。島田副委員長に言ってもらって整理つきました。

湖西市議会の経過を見ましても、自治基本条例という話も私が1期入ったときにありましたけれども、それよりも議会基本条例が先だということで先行した、そういう歴史もあるんですけど、掛川はそうなんだと、だからうまくできたんだという大方の意見なんですけど、私たちは後、その課題も見えてきた中で進めていくには、そちらの整備ということになるんでしょうかね、いかがでしょうかね。

竹内委員。

○竹内委員 先ほども二橋委員が言われたように、やはりまちの姿が見えてないんですよ。だから湖西市はまずとりあえず医療と介護のこれからの地域包括に向けての青写真というか、まちの姿こういう姿にしていきたい、掛川さんみたいにこういう姿にしていきたいというものを描かなければ、どういうふうになってくのかなという部分が課題だと思うんですね。とりあえず今包括のところに包括支援センターを置いてやってますけど、そこはまだなかなか多職種連携にはつながってないですよ。

○佐原委員長 牧野委員。

○牧野委員 済みません。すごくみんなよく見えてるじゃんね。最高のものに見えてるじゃんね、掛川が。でも絶対デメリットだってあるはずだよ。それも見なきゃ、これやっても湖西市まともに持ってこれないよ。そこも考えないと。これやって、みんな満足してるか、そうじゃないじゃんね。全員満足するようにできるか、これもできないかもしれん。でも、その中で、掛川でこういうことがもうちょっと欲しいよということだってあるはずだよ。それを聞きたいような気がするね。

○佐原委員長 二橋委員。

○二橋委員 この支援センターは当然地域の活動を支援するというのが前提になってるけども、その地域活動というのは地域と協働でいろんなことやとるわけだよ、市民と市民が率先して。そこからいろんな情報とか収集しながら支援をしとるけども、うちの場合、ちょっとよく考えると、いまだに民生委員あたりが要するに情報を流してる程度で、地域がそういう協働作業してないじゃんね。悲しいかな、民生委員だけじゃとてもそんなカバーもできないし、やっぱり支援するためには、地域にそうした根づけをしにゃいかんなど。湖西は、大体その最初の原点がそんな調子だもんで前へ全く進んでないよね。そんなの気がついて。なんで、もうちょっと聞きたかったのは、地域の活動というのはどんな活動してるのか。ただ、医療とか在宅とか予防なんかの支援してるいうけども、どういう形で支援してるのか、そこら辺が時間が少なくて聞けなかったと同時に、民生委員の所在というのはどういうふうになってるのか聞きたかったと思います。

○佐原委員長 竹内委員。

○竹内委員 私が伺ってたことで、結局ふくしあのいいところは、行政、社会福祉協議会、地域包括、訪問というふうに多職種がワンフロアにあって、たまたま相談に来た人たちの問題については、その中でみんなで共有し合いながらやってたじゃないですか。私たちが白萩さんとかいろんな施設を訪問に行ったときに出た言葉が、こういういろんな課題があるんだけど、湖西市はなかなか行政がそれを受け入れてくれないというか、丸投げにされているから私たちはつらいんだよ。自分たちがそういう課題に直面してるところにお出かけしても、何であんたら来るの、何で市の人が来てくれんのと追っ払われちゃうよというところが湖西市の欠点なのかなと思ったんです。

そうなると、掛川さんみたいに市が入りゃ、市民の人たちも市が来てくれたんだというふうを受け入れてくれるけど、まだなかなか各包括ケアの方たちが、包括です言っても、それは何なのとなって、市じゃない人が家へ来てくれても嫌だよといって、中に入れてもらえないという状況なんだと思うので、一日も早く掛川さんのように行政と一緒に取り組んでもらいたいなとは思いますが。

○佐原委員長 島田副委員長。

○島田副委員長 今、竹内さん言われたの、そのとおり。僕らが聞くのが、市が来ないで、来るでしょ、商売なのかって。もうけで来とるのかという人も多だよ、勘違いされて。息子らおりゃわかるけど、おじいさん、おばあさんだけでおる家は、何かいいようにされちゃうと言う人らが結構いるだよ、まち歩いててもね。それがうんと感じてみたい、田舎だとね。でも、新居でもまちの真ん中と、ちょっと離れた、新居のことばかり言っちゃあかんけど、橋本とか中之郷だと全然違うだよ。そのぐらい地域差がある。一番大事なことだと思いま



す、竹内さん言ったのね。

○佐原委員長 そうですね。在宅介護支援センターから来たら、本物かねという電話が私のところへ新所原でかかってきて、そういうふうに言って、うちのおじいさんに来たけれども、ほんとにあれは市の職員ですかって、オレオレ詐欺の一端じゃないかって。個人情報言っただけのいいのかって。身分証明書は首から垂らしていても、市民の皆さんはわからないというのがあるですね。現実の話でたくさんそういうことが皆さん聞いてるということです。

今いろいろ高柳さんが一生懸命、追いつかんぐらいになってますけど、先ほどから出た話は、ふくしあのような市民の皆さんの身近に幾つか市内に拠点があるといいよということですが、そこには市民の気持ち、福祉や介護の利用の仕方の意識も高いというソフト面が掛川は育ってるんだけれども、湖西市はまずそういうところも、市民の役割とかそういう決めてある自治基本条例もない中から、すぐは難しいんじゃないかという話ですが、今、まだ地域包括支援センターというのがあるから、それをうまく活用できるようにアレンジできれば、行政がそこに入るなり、どうかなというような。今の地域包括支援センターが4つに分かれてるもんでね、市内。それが活用できればですが、課題も多いですというお話をいただきました。

二橋委員。

○二橋委員 愚痴みたいな話になっちゃうけども、今湖西は包括ケアを前に進めようとしてるのかどうか、そこら辺も疑問になっちゃうよね。というのは、現状がそうだもんであえて言いたくなるだけども、本来ならもうそういう包括ケアをやる体制をつくって臨むならいいけども、体制もなしに、あと2年後には包括ケアが始まるよと言いながら、そういうふうにしなきゃいけないよと言いながら、現段階で何も前に進んでないじゃんね。これを一步でも前に進めるようにしんと、とても無理だよ。

○佐原委員長 島田副委員長。

○島田副委員長 議長言われるみたい、あそこの課が全然まとまらんとし、こんなん言っただけいいよね。いいだろ言っただけ、ぼろくそに言うじゃないよ。ほんとに下までおりにかない。途中でとまってる。担当者全然違うこと言うんだもんで、あそこ行くと。ほりゃ困るよ、年寄り行っただけ。それを物すごい聞く。僕は年寄りから。

○佐原委員長 一時休憩とります。

午後2時12分 休憩

---

午後2時17分 再開

○佐原委員長 休憩を解いて委員会を再開いたします。

今、ふくしあの視察に行った中での話をしておりますが、人員も掛川市ではそろっていたというところが印象的だというお話もありました。その辺、もう一度島田副委員長いかがでしょうか。御発言をお願いします。

○島田副委員長 湖西市は、このまんまだもちろん課もそうだけど、全員が大変だと思いますよ。人員を減らしちゃったためにね。そのあおりで残業とかいろんなものになる。それと臨時職員が多い。これは一番まずいことだと思いますけどね。ここを変えてかないと何やってももうまくいかないと思いますけどね。

○佐原委員長 竹内委員。

○竹内委員 視察に行った掛川市では、ふくしあにちゃんとそういうふうに入りを配置して置いたと言われたので、やはり人材の配置というか人の配置は必要ですよ。

○佐原委員長 ふくしあでは、行政職も必ず市の職員が入っていたと、5カ所にといいところですね。

あと、高柳委員にホワイトボードの板書をお願いしておりますが、後でまたまとめて御発言いただくということで、よろしくをお願いします。

ほかにかがでしょうか。福永委員、あとどうですかね。もう一度見直したりして、先ほどの発言にプラスすることがありましたら。

○福永委員 この間の視察のときは、災害時の対応について余り話はしなかったんですけど、やっぱり湖西市は地震とか災害、とても大事なことなので、こういうケアシステムを考えると、同時に災害時の対応ということをやったり同時進行というか、そこに含めて考えていく必要があるんじゃないかなと思います。

○佐原委員長 中東遠医療センターで県のモデルとなって防災訓練をしたということとか、希望の丘でもこの間やったとかいう話がありました。時間切れで詳しくはお聞きできなかったですけども、取り組んではいらっしやるようでしたね。そこで言われてたのが希望の丘が災害時の拠点であって、その中の掛川東病院が2次救護所になっているというお話がありました。そういうものを明確に市民にしておくということですよ。

島田副委員長。

○島田副委員長 あそこすごい高かったよね。東名の入り口なんか下のほうだったもんね。

○佐原委員長 標高は高いですね。

○島田副委員長 ほれだもんで標高高い。あそこは水はないと思いますけどね。

○佐原委員長 ということで、災害時の拠点になっていて、いろんな施設も整備しているという、救護所としてのね、診療所もありましたので。と掛川東病院があるということです。2次救護所ですね。

あとは、どうですか。島田副委員長。

○島田副委員長 ちょっとよ過ぎたね、見に行くところが。湖西市が勉強行くよりも、もっと下のところかにか勉強にはならんだよね。湖西市よりちょっといいぐらいのところ、そういうところを探したほうがいいかなと思いますけどね。

○佐原委員長 また、委員会継続とすれば、よりいろんな意味で人口規模も近かったりとか、そういうところの視察も行けたらいいと思います。

あと、私から言わせていただきますと、地域完結型医療体制という言い方をされていて、やはりそれは連携の象徴だと思うんですね。連携してあれば、そこで完結するよという。それを構築したというのがすごいなと思いました。

あとは高柳委員の御意見を聞くだけで、ほぼ出そろいましたかね。

高柳委員、長いこと板書ありがとうございます。では、視察の御自身のまとめをお願いします。皆さん言われたことでないこととか、重複しても結構です。

○高柳委員 皆さんの意見出て、同じようなことなんですけど、こういう先進地を見た中で湖西市の状況というのが余りにも、体制自体が無策というか、全然体制整備というんですか取り組みというんですか、全然なっていないというような感じを受けました。なので、それに対して湖西市としてどういふようなことをまずとりあえずしていけばいいかというのが、そういうことが考えさせられたんですけど、今、皆さんから出たようなこと、湖西市の中でそういう専門の職員が必要だとか人員の不足とか、またそういう地域での取り組みの状況もまだよくわかってないし、まず地域の状況を見た上でどのように取り組んでいくかということで、市の状況と地域の福祉、医療、介護の状況ですか、それぞれ地域でボランティアなんかでいろんなことやってますけど、いきいきサロンとか、いろんな大変なことやってますけど、民生委員の方とか、そういうこともよくわかってないという形の中で、そういうことも踏まえた中で、今度は市としてどういふふうに取り組んでいくか、その中で職員がどういふふうに対応してくか。また、議会のほうもこういう特別委員会やってますけど、そういう特別委員会としても、どこら辺に的を絞って、こういう地域医療体制を整備するような意見というか、そういうものをまとめていかにやらんかいいろいろ考えて、ちょっと自分としてはとりあえずどういふ方がいいかというのが今ちょっとわからない状況でございます。以上です。

○佐原委員長 ありがとうございます。課題がたくさん明らかになったというか、視察したことによって、どこから手をつけていいのかという状況は同じ思いもしております。それでも、幾つかほんとに共通項が皆さんと見出せたかなと思いますので、まとめて今後の市政に反映できるような委員会としての視察のまとめをしていきたいなと思います。

ちょっと休憩します。

午後2時26分 休憩

---

午後2時27分 再開

○佐原委員長 会議を再開いたします。

今、板書していただきまして、ちょっと読み上げていきますかね。それを今度また全協のほうで視察に行ってきましたという報告をさせていただきますので、この板書をもとに報告ということでしたと思いますが、漏れないか。

済みません。休憩します。

午後2時28分 休憩

---

午後2時30分 再開

○佐原委員長 会議を再開します。

たくさん板書していただきましたり、皆さんから御意見いただきました。それと、皆様からの視察の報告書をいただいておりますので、また正副委員長と事務局でそれらを取りまとめまして、もう一度皆様にお諮りしたものをメール等で内容を御確認いただきまして、追加するものがあればお知らせいただきまして、それでまた最終的なものをお示しして全協で報告するという形をとらせていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○佐原委員長 そういうことで、視察のまとめはこれで終わりにします。ありがとうございました。

そして、最初に申し上げましたように、年度が間もなく変わっていきます。それで昨年の6月、28年度の6月議会の中で、この地域医療等対策特別委員会は設置されたんですけども、当初は2年ほどの計画を出しました。1年目は現場へ行こうということで9施設への訪問とか意見交換をしてきました。そして翌年には地域へ、先ほどこから出ている地域の人たちのことを知ろうという、地域の自治会等との意見交換とか、あとは障害児者という、そちらの状況を聞く意見交換等をしていこうという大まかな予定を立てたんですけども、今度常任委員会のほうの改編もありますので、皆様のこの委員会への意向を、御意見を伺いたいなと思いますが、いかがでしょうか。

島田副委員長。

○島田副委員長 まずやりたい人を手挙げてもらって、みんなやりたいかもわからんもんで、そのままになるかもわかんないし、まずやりたい人がどのぐらいいるか調べたほうがいいんじゃないですか。そうすりゃ自然と。あとは向こうとの調整があるもんね。

○佐原委員長 そうですよ。もう一方、広報広聴特別委員会もありますので、私たちは最初のときに二橋委員等がすぐ対応できる問題ではないよという、長期戦で構える問題かねという御発言もあつたりしたもんで、皆様に計画は立てたところではありますが、ほかの方がいかがでしょうか。

○二橋委員 まず今特別委員会2委員会あるんだけど、我々のこの地域医療の特別委員会に関しましては、まだまだ行政のおくれもあるし、我々もまだ最終目的まで到達してないような状況にあるので、できましたら地域医療の特別委員会は、もう2年継続してぜひ進めていただければと思いますけども。

これは最終的には議運で決定することですので、とりあえずこちらの要望を出しといたほうがいいのか

なと思いますので、とりあえず私はそう思います。

○佐原委員長 二橋委員から、テーマとしてはやはりあと2年ぐらいは、私たちの今の任期のあるうちはやらなければいけないことではないかという御意見です。

ほかいかがですか。

〔「賛成です」と呼ぶ者あり〕

○佐原委員長 では、私たちの委員会としては、また議運のほうからの意見の求めもあったりしたところで、きょうお話しした部分もありますが、大変重要なテーマにて研究は続けていくという意向でまとめたいと思います。ありがとうございました。よろしいですかね。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○佐原委員長 ほかに何か意見交換したほうがいいようなことがあったら、いかがでしょうか、皆さんの中で。これで終わりにしてよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○佐原委員長 では、お忙しい中、大変貴重な意見交換ができました。どうもありがとうございました。これで委員会を終わります。

〔午後2時35分 閉会〕

湖西市議会委員会条例第28条第1項の規定により署名する。

委員長 佐原 佳美